

vol. 28-2

1学部・7学科を擁する神戸芸術工科大学。 学生たちはそれぞれの学科で学びに励みながら、 未来を切り拓き、自らの人生をデザインしていくための力を磨いています。 今回は各学科から7人の学生に集まっていただき、 実際に学んで感じた学科の魅力から将来の目標についてまで語ってもらいました。

専門学科の壁を越えた 学生同士の交流が刺激に。

蔦本:クラフト・美術学科では、美術とク ラフトの両領域の基礎について一通り 学んでから、関心に応じて絵画や美術 教育などのコースを選択できます。私は フィギュア・彫刻コースに所属し、針金 を使った彫刻制作に取り組んでいます。 作品制作の授業が多く、作品を具体的 に評価していただける機会が多いので 刺激的です。日頃触れる映画やまんが からアイデアを思いつくこともあります。



宮本:まんが表現学科も、3年次からコー スに分かれます。幅広い領域を経験した 上で、自分の表現フィールドを見出して いきます。例えば、私はまんが表現学科 ですが、映画を撮る授業を受けたことも あります。先生方は学生の自主性を尊重 しながら、得意なことを見つけられるよ

うに指導してくれるので心強いです。ま た、神戸芸術工科大学には学科横断型 プログラムもあります。学科ごとに学生の 雰囲気や考え方が違うので新鮮ですね。

速水:映像表現学科は1年次からコース に分かれ、専門性を深めていきます。私 は映画コースですが、カメラをはじめと する機材の使い方から学び始め、現在 は「映画で何を伝えたいか」を突き詰め て考えるようになりました。映画を撮影 するときは、ファッションデザイン学科 の友人に衣装のデザインをお願いする こともあります。宮本さんが言う通り、他 学科との交流は刺激になりますね。

成長を後押ししてくれる 情熱的な教員陣。

村川:私はプロダクトデザイン学科の 家具・スペースデザインコースに所属し ています。店舗の企画・設計といった実 践的な課題に取り組むなど、興味深い授 業が目白押しです。先生と学生との距 離が近いことも特徴の一つ。作品制作で 遅くまで一緒に残っていただいたとき は、感激しました。





で、多岐にわたる領域でさまざまな形とがこの学科を選んだきつかけです。丸 態の作品づくりにチャレンジできます。 岡さんと同じように、私もこれからゼミが 学びの自由度が高いのがうれしいです。

丸岡:環境・建築デザイン学科は、資格 取得などに重きを置いた詰め込み教育 ではなく、「デザインでどのようなコミュ ニケーションを生み出すのか」について 考えるように日々指導を受けています。 これからゼミに配属されますが、設計領 域のゼミに入り、住宅だけにこだわら ず、さまざまな空間の設計に取り組みた 始まるので、今から楽しみにしています。



濃密な学びを経て広がる 一人一人の夢。

蔦本:今後は3年次の終わりにあるEgg 展や4年次の卒業制作展など、たくさん の展覧会があるため、悔いのないよう に作品をつくっていきたいです。また、 中学校・高等学校(美術・工芸)の教員免 許を取得するために、教職課程の履修 にも力を入れます。みんなのこれからの 目標は何ですか?

宮本: 出版社から担当の編集者がつき、 作品を見ていただいているので、在学 中の連載をめざしています。まんがを描 く上で友人から刺激を受けることも多 いですが、ぶれずに自分のオリジナリ

堀内:卒業しても、ずっと作家活動をし ていきます。絵を描くなど、自分の好き なことをビジネスに繋げることができ ればいいなと思っています。

村川:私は店舗設計とか自由度の高い ところで、見た人がワクワクする空間を つくりたいです。現在は空間デザイナー になるべく就職活動しています。



垣渕: 漠然と東京で就職することに憧れ があります。大学で学んだことを生かし て、映像やモーショングラフィックスに 関われる企業で働くつもりです。

丸岡: みんな十人十色の目標がありま すね。私の夢は設計士になること。空間 にコミュニケーションを生み出すような 建築物を建てるのが目標です。



自らをデザインすること

多彩な学科の魅力に迫ります。

垣渕:確かに情熱的な先生が多いです ね。ビジュアルデザイン学科は、一言で いえば「何でもあり」。平面のグラフィッ クからイラストレーション、フルデジタ ルのWeb・モーショングラフィックスま





堀内:私はファッションデザイン学科の テキスタイルデザインコースで、布や ニットなどの生地について学びを深め ています。元々絵を描くことが好きで、自 分の絵を生地にしてみたい!と思ったこ

ティを持つことを意識しています。 速水:担当の編集者がいるなんてすご い!私は学科で映像表現に触れ、将来も 携わっていきたいと強く思うようになり ました。中でも企画ができる職種に就き たいです。



キャリアセンターから学生・保護者のみなさまへ

就職活動に関して学生を取り巻く状況は近年大きく変化してきています。

インターネットを使用した就職活動、採用試験の複雑化、選考期間の短期化など学生には大きな負担がかかります。

ただ、この時期は将来自立し生活をしていく力を身につけるためにも、自身で方法を考えて切り拓いていく大切な時期でもあります。

このような就職環境だからこそ保護者の方のご理解、家庭での環境づくり、適切なアドバイスが不可欠です。

キャリアセンターでは、学生のキャリアについて、保護者のみなさまとも連携させていただき、

就職活動支援の取り組みをより一層強化していきます。ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新4年生(2018年卒)の保護者の皆様

いよいよ3月1日より就職活動が解禁になります。数年前とスケジュールも変わり「短期決戦」と言われています。希望する企業・業界の情報収集をもとに自己PRや志望動機を丁寧に作成し各企業の採用スケジュールや選考方法を把握して、落ち着いて進めていくことが大事です。学業と就職活動のスケジュール調整は大変だとは思いますが、卒業時に「納得のいく進路選択ができた」と思えるよう、そして短期決戦に乗り遅れる事がないように、目標を持ちしつかり考え取り組むことが大切です。

就職活動生を対象としたキャリア支援について

各種相談

履歴書やエントリーシートなどの添削

選考時に求められる文章は、書き方や内容で採用可否に影響します。キャリアセンタースタッフの客観的な意見やアドバイスを参考に、納得のいく書類を作成することが重要です。

キャリアカウンセラー

1回50分、事前予約制で一人ひとりの希望に沿ったサポートに専門のカウンセラーが対応します。

求人情報の閲覧やカウンセラー予約は専用サイトから可能

学内にいなくても『求人検索NAVI』から情報収集が可能です。

個人面談を実施します(5月上旬~)

就職活動中の4年生を対象とした個人面談を実施します。活動の状況や就職・進路選択に関する悩み等、各学生に合った就職活動サポートを目的としています。

新3年生の保護者の皆様

1年後に始まる就職活動に向けての準備期間がスタートします。学内で実施する『就職ガイダンス』への参加や、夏休み期間のインターンシップ、目指す職種で求められるスキルを磨くなど、各自で取り組めることは様々です。「迷ったらやってみる」を意識して挑戦することが大切です。

3年生を対象にしたキャリア支援

3年生対象就職ガイダンス

年間を通して実施。「筆記試験模試」「適性検査」「業界研究セミナー」「履歴書の書き方」など、就職活動時に必要なことを把握するためのプログラムを実施します。

夏休みを利用したインターンシップへの参加

「自分の能力を知る」「企業のことを理解する」など、社会に出る前に必要なことを知る機会となるため、積極的な参加をおすすめします。

インターンシップについて

インターンシップは、企業での業務に携わる事で、自らの専攻や将来のキャリアに関係した「就業体験」を行う機会です。参加することで現在の学びが社会とどのように繋がっているかを知り、専門知識についての実務能力を高める機会となる他、企業での仕事を経験することで卒業後の自身をイメージすることも出来、進路決定のきっかけにもなります。神戸芸術工科大学では毎年100名前後の学生がインターンシップに参加しています。

インターンシップに参加するためには

キャリアセンターには、様々な企業や団体からインターンシップの情報が届きます。参加を希望する人はガイダンスへの参加、参加が決定した人は『マナー講座』『事前説明会』『事後報告会』への参加が必須です。また、キャリアセンターでは全学年を対象に説明会を実施します。(5月実施予定)

■ インターンシップの流れ

ガイダンスに参加する

受入先企業を探す

応募(書類提出)

キャリアセンターでの手続き 重要

マナー研修・事前研修 参加必須

インターンシップ参加

必要書類提出・事後研修会 参加必須

5月上旬に実施します。インターンシップの目的や申込の手順等を説明します。

『大学に届いた情報から探す』『興味がある企業の HPを確認する』『インターンシップ情報サイト』な どから各自で探します。

各社・団体の実施要項に従って応募。キャリアセンターで取りまとめて提出するものもあります。また、選考を 通過しないと参加できない場合もあります。実施要項 を確認しましょう。

インターンシップに参加することが決定したら必ず キャリアセンターに報告。各種書類への記入等、 参加する際に必要な手続きを行います。

基本的なマナーを学んだり、インターンシップ先で の注意事項・書類提出(事務手続き)を事前に確認 したりします。

インターンシップ中に記入する日誌などの書類を提出します。

インターンシップ事後研修

インターンシップの振り返り。就職活動準備に繋げます。 企業や団体ごとに報告会を実施するところもあります。

教

育

後

援

会

通信

教育後援会通信

教育後援会とは大学と家庭の架け橋として、在学生の保護者により組織された団体です。 教育後援会では大学の教育活動の発展に寄与することを目的とし、

学生の福利厚生及び課外活動に対する援助、修学や奨学金、就職のためのサポートを行い、

学生たちが大学生活を有意義に過ごし、

少しでも学生自身の目標が達成できるように大学と協力し活動しています。

教育懇談会を開催しました

教育後援会では、保護者の方が抱く心配でと、日頃の学生生活や就職の状況など不安の軽減を図るため、大学との共催事業として、去る9月25日(日)、10月2日(日)の2日間にわたり教育懇談会を開催しました。今年度は地方4会場〈大阪、広島、香川、福岡〉と神戸会場(本学会場)で開催され、222組327名と非常に多くの方にで参加いただき、活気ある懇談会となりました。来年度も開催を予定しておりますので、ぜひお申し込みのうえ、で子女の大学での様子を知る場としてで活用ください。開催に関するで案内は保証人様宛に郵送にてお送りいたします。

大学祭で模擬店をしました

教育後援会では、大学祭事業への援助および協力を行っており、今年度も常任委員を中心にケーキと飲み物を提供する模擬店を出店しました。両日ともにたくさんの方にで来店いただき、売り切れが続出する大盛況でした。ご協力いただきありがとうございました。





留学生交流旅行を開催しました

教育後援会では、奨学金の給付や交流イベントの開催などを通じて留学生支援を行っています。 2016年度は、留学生と交流して相互理解を図るとともに日本文化への理解を深めるため、 留学生交流旅行(淡路島・徳島方面への日帰リバス旅行)を11月19日に開催しました。留 学生と常任委員に加えて、留学生の学生生活をサポートしている日本人チューターや学外 の留学生支援組織などから合計34名の参加があり、にぎやかな旅行となりました。

明石海峡大橋を渡ってまず向かったのは、淡路市立陶芸館です。ここでは、手回しロクロやタタラ板を使った粘土細工に挑戦しました。慣れない作業に戸惑う場面もありましたが、参加者同士で助け合い、個性あふれる作品を完成させることができました。

体験後は、淡路島南端にある道の駅に移動し、淡路島の名産がふんだんに使われた昼食でおなかを満たしました。次に、大鳴門橋を通って徳島県に渡り、大鳴門橋の橋桁内に造られた遊歩道「渦の道」からうず潮を見学。激流の轟音がとどろく中、海上45mの高さからガラス床をのぞき込むスリルと大迫力に、留学生は圧倒された様子でした。帰路は「たこせんべいの里」に立ち寄り、工場見学とお土産選びを楽しみました。

教育後援会では、今後も留学生支援を通じて国際交流の活性化に貢献してまいります。





2017年度 教育後援会 総会のご案内

総会では、平成28年度の事業報告および収支報告、平成29年度事業計画(案)および予算(案)、平成29年度常任委員の選出についてご提案させていただきます。下記日程にて教育後援会総会を実施しますので万障お繰り合わせの上ご出席いただきますようよろしくお願いします。

日時:2017年4月4日(火) 11:00~11:35 会場:神戸芸術工科大学 D棟 吉武記念ホール

教育後援会奨学金について(給付奨学金)

教育後援会では、優秀な資質を有しながら、経済的理由により学費の支弁に支障ある学生に対し、学資を給付して学業を継続させ、社会に有用な人材を育成することを目的に奨学金制度を設けています。募集の案内はポータルサイト及び学内掲示板で行いますので、注意して確認しておくよう、ご子女のみなさまへお伝えください。

対象:教育後援会費を納入し、本学に半期以上在学している学部生および大学院生で、学業の継続と向上を目指し、経済的理由により、就学困難と認められる者。 (当該年度の入学生は後期分から申請可)

■前期募集(2016年度実績)

募集時期:4月上旬 ※当該年度のみの支給です。返還の必要はありません。

■後期募集(2016年度実績)

募集時期: 10月上旬 ※当該年度のみの支給です。返還の必要はありません。

お知らせ

2016年度卒業式のご案内

下記日程にて卒業式を挙行いたします。

日時: 2017年3月18日(土) 開式 10時~(受付:9時30分~)

会場:神戸芸術工科大学 D棟 吉武記念ホール

※ホール座席数の都合により、保護者の皆様は、学内大講義室で上映する中継映像をご覧いただきます。

卒展カオス2017 リアルタイムドキュメンテーション

2月10日(金)~12日(日)の間、開催された「神戸芸術工科大学卒展[学部・大学院] カオス2017」の リアルタイムドキュメンテーション (RTV) をYouTubeにて公開しています。

2月7日(火)の梱包作業から始まり、準備~開催~撤収までの怒涛の7日間の完全記録集です。ぜひご覧ください。

YouTube 公開ページはこちら

優秀作品展2017

全学科・大学院の優秀な作品を選抜・展示いたします。

未来のクリエイター・アーティスト・デザイナーである神戸芸術工科大学の学生たち。彼らの作品をぜひご覧ください。

会期:2017年3月5日(日)~4月5日(水) 平日9:00~18:00 土曜9:00~17:00 日曜・祝日休館 会場:神戸芸術工科大学 D棟 吉武記念ホール1F ギャラリー・セレンディップ

※3月5日(日)は10:00~16:00開館、3月13日(月)は閉館

学生専用ポータルサイト「KDUポータル」誕生

2016年9月より、学生専用ポータルサイト「KDUポータル」の運営を開始いたしました。

「KDUポータル」は、インターネットに接続された環境で、

学内・自宅から授業や学生生活に関する情報等を確認できるシステムであり、以下の情報をご利用いただけます。

・行事予定 ………… 大学の行事予定等の確認

•掲示情報 …………大学からの連絡・休講情報の確認

シラバス照会 ……・シラバス (講義概要) の閲覧

・履修登録 ……… 履修授業の登録(期間限定)

・学生時間割表 時間割表と成績(単位修得状況)の確認

・成績照会………… 成績の確認(学外からの参照は期間限定)

・学籍情報照会 ………… 学籍情報の参照(学外からの参照は期間限定)

・学籍情報変更申請 …… 学籍情報の変更申請(学外からの申請は期間限定)







行事予定

4月以降の行事予定は、詳細が決まり次第ポータルサイト等でお知らせいたします。

2017.2

20 月 成績発表

再試験受付開始

成績評価確認制度申出期間開始

22 水 再試験受付終了

23 木 再試験

24 金 再試験 25 土 再試験 2017.3

5 日 オープンキャンパス

9 木 卒業認定者発表(掲示)

10 金 奨学融資制度申込締切

18 土 卒業式

20 月 春分の日

29 水 新4年生オリエンテーション

30 木 新3年生オリエンテーション

2017.4

3 月 新2年生オリエンテーション

4 火 入学式

事務取扱時間について

通常授業実施期間外の事務取扱時間についてお知らせいたします。※3/13は入試のため学内立ち入り禁止です。

窓口	期間	月曜~金曜	土曜	備考
教務課(本館)				
教務課(学科事務室)				
学生生活•国際交流課				
事業推進課	2/1~3/31	9:00~18:00	9:00~17:00	
広報入試課				
キャリアセンター室				
保健室				3/29、3/30は閉室
学生相談室		10:00~16:00	閉室	毎週木曜日は12:00まで
				2/28、3/16、3/29、3/30は閉室 3/8、3/14は12:00まで
コンピュータ・ラボラトリー	2/10~3/31	9:00~17:45	9:00~16:45	1階のみ自習可 1107は閉室
図書館	2/1~3/31	9:00~17:00	9:00~17:00	2/27~3/7は閉館
食堂	2/9~3/28	11:00~15:00	11:00~15:00	通常よりメニュー数を減らして営業 3/29〜通常営業
カフェ		休業	休業	3/29~通常営業
購買部	2/9~2/28	12:00~16:00	休業	3/1~休業 3/29~通常営業

アンケートにご協力ください

より充実した誌面作りのために、保護者のみなさまからのご意見・ご感想をお聞き するアンケートを実施しています。ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願いい たします。なお、アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で10名の方に「図書 カード(1000円分)」を進呈いたします。当選者の発表は、商品の発送をもってかえさ せていただきます。

アンケート回答用紙に必要事項を ご記入のうえ、FAXでお送りください。 FAX:078-794-5027

締切 2017年3月31日(金) 神戸芸術工科大学

KOBE DESIGN UNIVERSITY

Vol.28-2 No.83 2017.2

編集/発行 神戸芸術工科大学 学生生活・国際交流課

〒651-2196 神戸市西区学園西町8-1-1

TEL: 078-794-5024

FAX: 078-794-5027

HP: http://www.kobe-du.ac.jp E-mail: kdu-i@kobe-du.ac.jp

※ご記入いただきました個人情報は安全かつ適切な管理を行い、標記の目的以外に使用いたしません。